Op-1

Optional Tour 1

はとバスツアー東京観光

皇居広場：坂下門～二重橋～楠木正成像

浅草ビューホテル・武蔵ビュフェ

浅草観音・仲見世

葛飾柴又帝釈天・柴又駅から参道

どこかで記念撮影、

思い出ムービーは、グループごとではなくみんなの思い出にします。

ご協力ください。

ツアー価格：16,500円(消費税1,500円込み)
3月20日（日）10:00～17:00
貸切バス移動・ランチ付き
【参加特典】記念撮影・思い出ミニムービー

＞＞ツアー後は、晴海屋の屋形船へ

Imperial Palace
皇居前広場

HatoBus Tour **01** 10:20〜11:20

見たことあるけど行ったことない

人が多いのではないでしょうか。皇居前のとても大きな広場・坂下門〜二重橋〜楠木正成へ

記念撮影したい！

◀二重橋をバックに記念撮影希望！していますが、混雑状況により、全体写真やグループ写真か、あるいは、スタッフがオフショットをとります。みなさまもカメラOKです。

一緒に過ごした絵は残したいので、ビデオカメラまわします。

坂下門とは

1862年に老中・安藤信正が襲撃暗殺された「坂下門外の変」が起こった場所。有名な「桜田門外の変」は井伊直弼が襲撃された事件で、1860年に起こりました。

東京駅=東を背にして、皇居に向かって右にあるのが坂下門、左にあるのが桜田門になります。

二重橋は、桜田門側です。

二重橋

皇居の正門を入ってから最初に渡る鉄製の橋。

この写真の二連アーチの石橋が二重橋かとおもいきや、この奥の皇居内の鉄橋が二重橋。

江戸城のころに、木製の橋がかけられていたのだが、堀が深いためこの橋の上に二重に橋桁をかけたところから二重橋と呼ばれるようになったようです。

楠木正成

東京三大銅像のひとつ。

鎌倉時代末期の名将と言われる楠木正成。天皇の忠臣として「北条氏」や「足利尊氏」と戦ったため、功績をたたえて皇居に銅像が築かれたとのこと。

楠木正成は、吉川英治の小説「私本太平記」で天才武将と描かれ、1991年のNHK大河ドラマ「太平記」では武田鉄矢が、真田広之演じる主人公・足利尊氏の敵役として演じました。

Asakusa View Hotel

浅草ビューホテル「武蔵」ランチ

HatoBus Tour **02** 12:00〜13:00

超王道の浅草ビューホテル
スカイグリル武蔵のビュフェランチ

とてもゴージャスで、スカイツリーから富士山からとにかく東京が見渡せる東京観光王道の浅草ビューホテルでビュフェランチします。

食べ放題！めちゃめちゃ美味しそう

10:00出発で、皇居広場を散歩してから浅草へ、12:00ごろにランチ予定。
お夕食は18:00に屋形船が出港というスケジュールなので、たくさん食べても大丈夫？
屋形船は和食です。得意なもの不得意なものありそう！という方は、ビュフェでバランスよくお食事してください！

3/19から春休みのいちごスイーツ祭りがスタートしたばかりですって。

Asakusa Nakamise

浅草観音と仲見世

HatoBus Tour **03** 13:00〜14:30

仲見世は日本語禁止ルール適用

２つ目の訪問地は、雷門から仲見世通りを進み、浅草観音へ。仲見世通りは「日本語禁止」だけでなく、「oops」と「uh huh」は必ず発話すること。

記念撮影したい！

この写真は去年の秋に下見にいった時のもの。このぐらい空いてたら、記念撮影し放題ですが・・・。状況によりけりで。

一緒に過ごした絵は残したいので、ビデオカメラまわします。

Before コロナ

春の３連休。ここまで盛り上がります。今はここまでの人出ではないですが、賑わいの仲見世通りを抜けて浅草寺本堂へむかう。

Shibamata FU-TEN

葛飾柴又帝釈天で寅さんに会う

HatoBus Tour **04** 15:30〜16:40

「男はつらいよ」を どれか観ておくとさらにDEEPで さらに楽しい柴又帝釈天と寅さん観光

さらに楽しい柴又帝釈天と寅さん観光。映画が生まれてからずっと変わらずメインロケ地となった柴又駅から参道沿いの小さなお土産屋さんの街並みを通って、帝釈天へ。
テレビドラマとしてスタートし、1969年から2019年までの間に50作が公開されたロングランのシリーズ映画「男はつらいよ」は、寅さんシリーズとも。
海外でも日本の文化を知る映画として人気だとのことで、はとバスでも「TOKYO DEEP」スポットとしてコロナ以前はとても人気だったそうです。
ちなみに海外では、惚れては失恋する寅次郎の物語は、喜劇ではなく悲恋の物語として受け止められることも。

柴又駅と寅さん像・さくら像

映画の中にも登場する柴又駅。もちろん綺麗に改装されていますが、当時のムードも残っています。
渥美清さん演じる主人公・寅さんと、見送る倍賞千恵子さん演じる妹・さくらの銅像があります。

ここからお団子屋さんのある参道を抜けて、柴又帝釈天（帝釈天 題経寺）へ。

ちなみに、北の国からの純くんは、この街では寅さんの甥っ子・満男と呼ばれてます

柴又帝釈天

門を潜って正面に広がる緑青に覆われる重厚感あふれる銅の屋根と木彫刻の数々、そして、映画にも登場している鐘舎。

帝釈堂正面の松の古木の迫力にも圧倒されます。

英語のOMIKUJIや、寅さんのお守りも。
もとは、富士山頂に位置した下山仏の菩薩観音像も美しいです。

寅さんの実家はお団子屋さん

参道の入り口にあるお団子屋さん「高木屋老舗」は柴又ロケ隊が控室のように場所を借りたお店だそう。
参道入り口左手にある「ゑびす家」がテレビシリーズ「男はつらいよ」のモデルになったお店、参道を進んだ先の右側の「亀屋」の昔の店舗が映画版のモデルとのこと。
草団子にあんこたっぷり。土産を持ち帰るか、串団子を食べながら帝釈天に向かうか。

寅さん記念館はまた今度

TOKYO DEEPな寅さん記念館には、映画のセットがそのまま移築され、フィルムや小道具などの展示、映画撮影の裏側を詳しくみせてくれるコーナーも。
残念ながら、春休み期間中に閉館中とのこと。4月以降に新装再開されるそう。
また来る？